

いちのへん家 大解剖!!

天然無垢材にこだわって、試行錯誤を繰り返しながらつくられた、いちのへん家。

巷にあるような新品ピカピカのモデルハウスではありませんが、

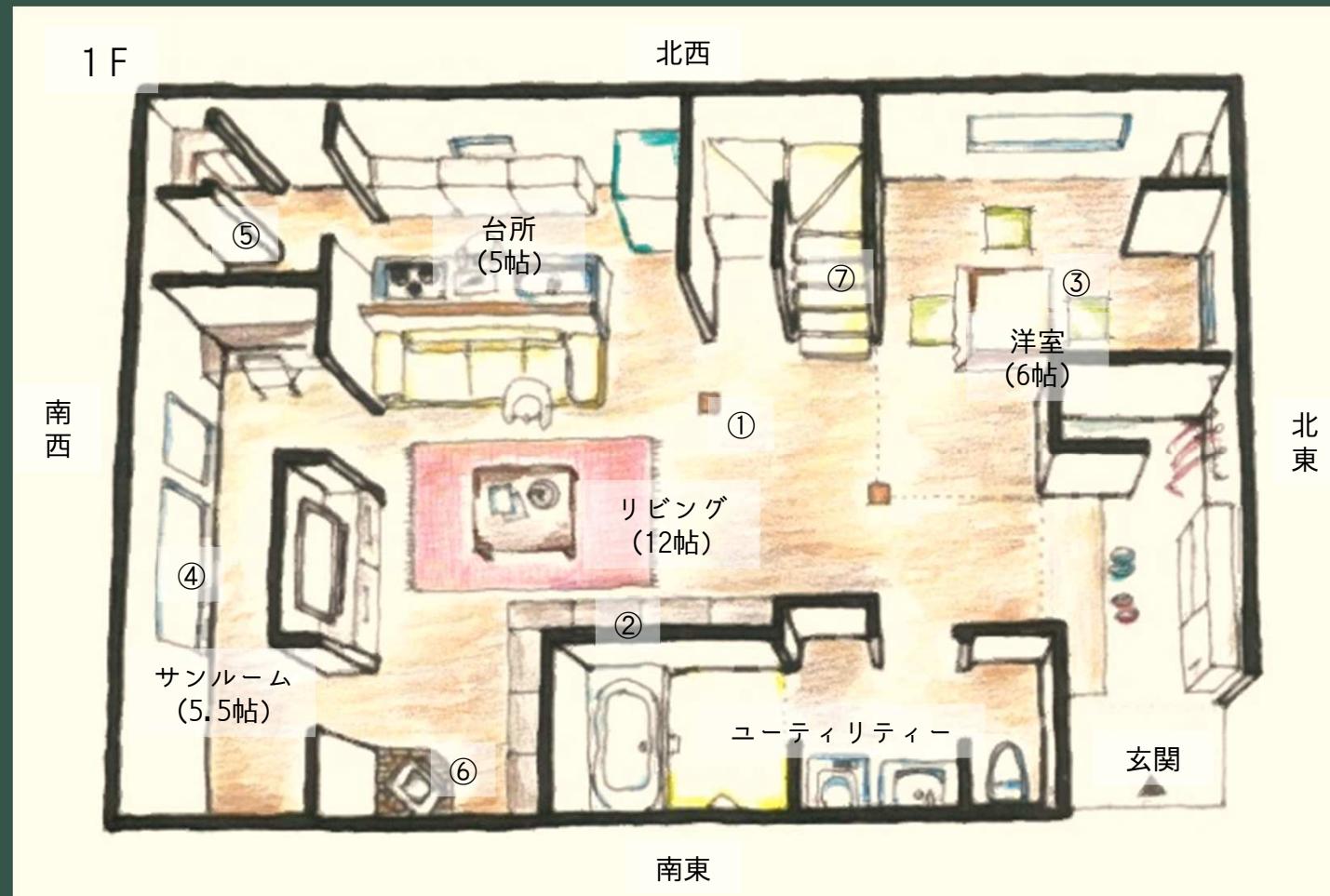
家族が生活してゆく中で色濃く風合いを増し、家族と共に成長してきた「木のいえ」を皆さんのが五感で味わってみてください。

住み始めて5年、10年・・・無垢の木でつくられた家だからこそ、感じられる経年変化。

イチノへが、いちのへん家の良いところ・悪いところ全て、語り尽くします。



(語り手: 一戸貴義)



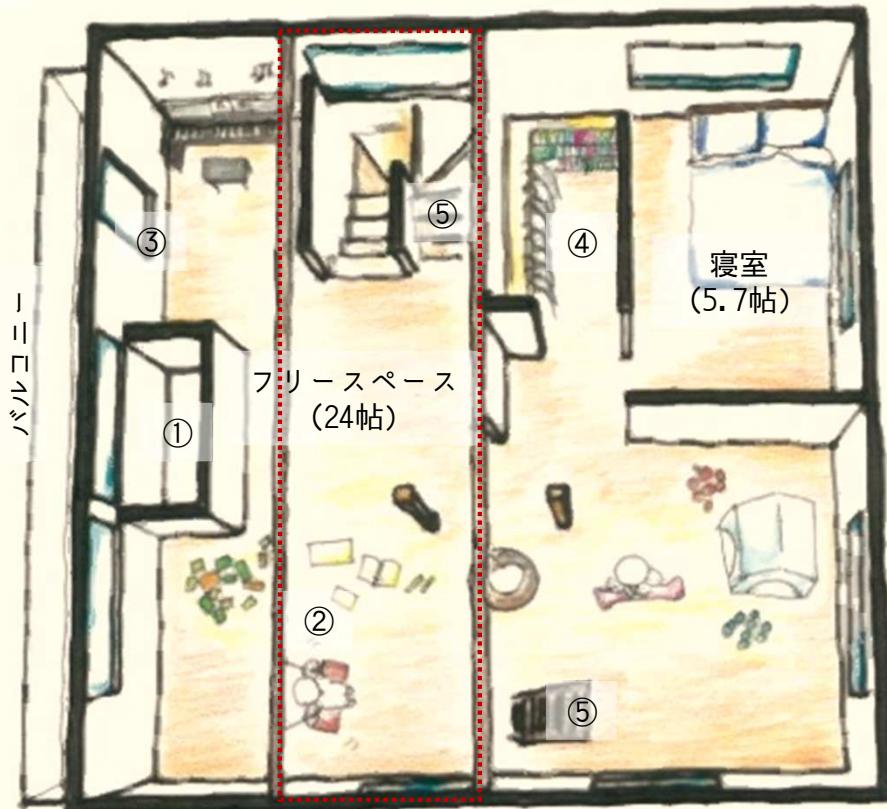
- ① 立派な古材の梁を大黒柱に。我が家の大切なシンボル。
- ② 自慢の大容量の壁面収納。
- ③ 現在、事務所として使用しているスペース、実は掘りごたつ仕様になっています。将来のたのしみに。
- ④ 南向きのサンルームには、目隠し壁をつけ、干している洗濯物が見えないように工夫。
- ⑤ 台所脇のパントリーは、夏でも涼しいので、食料品の保存に最適。
- ⑥ ペレットストーブで、寒い北海道の冬もたのしみに。
- ⑦ 階段は、柔らかな感触の桐材を使用。

いちらのへん家 大解剖!!

2階は主に、こどもたちのためのスペース。
小さなうちは、のびのびと遊べるように敢えて寝室以外は壁を設けませんでした。
将来的には、間仕切り壁を入れて子供部屋をつくる予定。

(語り手：一戸貴義)

2F



- ① 小さな吹き抜け空間。
でも、失敗もあったようで…?
 - ② 2本の大きな梁に取り付けた
お手製のブランコは、こどもたち
にも大人気。
 - ③ 南東向きの日当たりのよい
バルコニーへと続きます。
 - ④ 大容量のウォークインクローゼット。
天井高も高いので、収納力たっぷり。
 - ⑤ 小屋裏へと続く階段と梯子。
小屋裏なんて、秘密基地みたいで
大人でもワクワク。
- 3階小屋裏スペース。
どんな風になっているのかは、見ての
おたのしみ。